

はーとふる みなみ野



〈表紙について〉

2月11日(日) 第74回全関東八王子夢街道駅伝競走大会が開催されました。当院では選抜メンバー1チームが一般男子の部に参加しました。日々走り込み、個々のレベルを上げてきました。結果は医療機関では25チーム中3位という好成績でした。みなみ野病院の看板を背負い、応援団のエールを“カ”に変えて駆け抜けた4名です。

当院 緩和ケアの専門医をご紹介します！



八戸 すず(やえ すず)先生

- ・日本緩和医療学会専門医
- ・日本がん治療認定医機構認定医
- ・日本内科学会認定医
- ・順天堂大学医学部緩和医療学研究室非常勤助教
- ・日本医師会産業医
- ・厚生労働省がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会ファシリテーター



病棟クリスマス会

Q 緩和ケア医を目指したのはなぜ？

もともとは中学生のころ、日本国内でホスピスが広がってきたときに「**最期までその人らしさを支える**」という緩和ケアのあり方に感銘を受けたことがきっかけです。日本では、緩和ケアは「最期の医療」と思われがちですが、世界ではすべての疾患のあらゆる場面で患者さんに寄り添い、力を発揮する医療なので、いつか日本でもそんな緩和ケアを広げていきたいと思い目指しました。



Q 当院の緩和ケア病棟の特徴は？

一番の特徴は、専門性を持ったスタッフが揃い、非常にきめ細やかな治療やケアを行っている点です。現在は、緩和医療専門医、緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師、病棟専属のリハビリスタッフに加え、看護師僧侶や経験豊かな看護師や介護職が一丸となって、患者さんの心身のつらさを軽減し、穏やかに過ごしていただけるよう尽力しています。全国に緩和ケア病棟や緩和ケア施設は増えていますが、このように迅速で丁寧な医療を提供できている施設は数少ないと思います。

院内ギャラリー 1月から2月の季節のディスプレイとイベント風景です。

回復期リハ病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



夢駅伝応援団



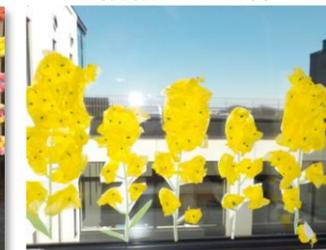
医療療養病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



通所リハビリ



アンケートへのご協力をお願いします

アンケートはこちらから



アンケート

広報誌「はーとふる♡みなみ野」についてのご感想をお伺いしております。皆様のお声をいただき、今後のより良い広報活動に役立てて参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



医療法人社団永生会
みなみ野病院

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3
TEL 042-632-8118(代)
TEL 042-632-8154(入院相談)
<https://www.eisei.or.jp/minamino/>



●みなみ野病院は、4つの機能で地域の皆さまに信頼していただける病院づくりを目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。

- 緩和ケア病棟
- 医療療養病棟
- 回復期リハ病棟
- 通所リハビリテーション



～「医療・介護を通じた 街づくり・人づくり・思い出づくり」を理念とし、
地域の方々を支えていく～ それが私たちの願いです

コンテンツ

- 院内ギャラリー (1月から2月の季節のディスプレイとイベント)
- 当院を知っていただくための特別企画「回復期リハビリテーション病棟紹介」
- 緩和ケア専門医のご紹介



みなみ野病院を知っていただくための特別企画

みなみ野病院は、回復期リハビリテーション、慢性期医療、緩和医療、通所リハビリテーションの「4つの機能」で地域の皆様に信頼していただける病院づくりを目指しています。今回新企画として、さらにみなみ野病院を詳しく知っていただくために、病棟の取り組みや働くスタッフを4回シリーズでご紹介いたします。第1回目は、「回復期リハビリテーション病棟」です。

みなみ野病院の回復期リハビリテーション病棟

1. 回復期リハビリテーション病棟とは？

回復期リハビリテーション病棟（以下回復期リハビリ病棟）は、急性期の治療が終了した後、**すぐにご自宅などへ帰ることが難しい方のために**集中的なリハビリを行うための病棟です。

永生会では2001年からこの病棟を開設し、その取り組みには長年培った歴史があり、質の高いリハビリを行っています。

2. 入院できる疾患と入院期間は？

疾患	病棟に入院できる期間
脳卒中、脊髄損傷などの方	150日
大腿骨、脊椎などの骨折の方	90日
手術や肺炎などで体力が落ちた方	90日
大腿骨、脊椎などの神経・筋が損傷した方	90日
股関節・膝関節の置換術後の方	90日

3. 回復期リハビリ病棟の特徴は？

当院の回復期リハビリ病棟は、様々な職種によるリハビリチームが、患者様やご家族様一人ひとりに合わせた、きめ細やかなオーダーメイドのリハビリを実施し、心身機能を最大限回復するよう働きかけています。

病棟の特徴としては、**中庭を囲むように病室があり**、中央にあるスタッフステーションは、患者様が声をかけやすい配置になっています。

また、**退院後のご自宅の環境を模したADL室**では、ご家族と一緒に退院後の生活に即した実践的なリハビリを行っています。

リハビリ室は、リハビリ病棟と同じ1階フロアにあり、天井走行レール付き体重免荷装置があり、立つことが不安定な方も安全に立位や歩行の練習が行えるようになっています。



【中庭】病棟の中からも季節を感じられる気持ちの良い空間



【中庭に面している廊下】広く直線距離も長いので、歩行リハビリにも最適



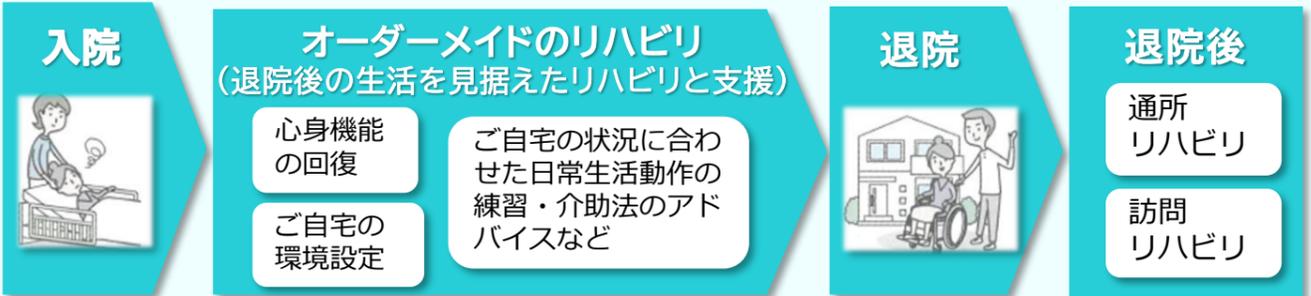
【ADL室】退院後に生活される環境でリハビリ



【リハビリ室】天井走行レール付き装置で安全に訓練

4. 入院から退院まで

回復期リハビリ病棟に入院されたら、医師の診察のもと患者様個々に合わせたオーダーメイドのリハビリを実施します。オーダーメイドの特徴としては、『**患者様の病気の状態**』『**ご自宅の生活環境**』『**退院後の継続した支援**』に合わせて目標を設定し、病気の管理と共にリハビリを行います。



退院までには、退院後の生活が困らないように、在宅や施設での環境をお聞きしたり、実際ご自宅へ伺うことで、必要な方へ家屋改修や福祉用具をご提案させていただき、ご家族へ介助方法をアドバイスをおこなっています。また、退院後もその方の生活スタイルに合わせてさらにリハビリが継続できるように、訪問リハビリや通所リハビリ等のサービスの提案をさせていただきます。

5. 病棟スタッフ体制と取り組み

当院では、医師、リハビリ専門職、看護師、介護職など、様々な分野の専門家が連携し、豊富な経験と知識のもと、**24時間365日**、医療・介護を行い、脳卒中をはじめとする疾患の後遺症や、運動機能の回復を目指します。食べる・歩く・排泄などの生活リハビリのみでなく、病気の管理、言語・聴覚の個別リハビリなど様々な練習を集中的に行います。

各専門職がチームで、**患者様の退院後の生活を見据えた適切なサポート**を行っていきます。



6. 病棟での1日の紹介 (例)

6:00	起床・洗面・着替え
7:00	朝食・口腔ケア
9:00	リハビリ(理学・言語療法)
11:00	リハビリ(言語聴覚療法)
12:00	昼食・口腔ケア
13:30	入浴
14:30	リハビリ(作業療法)
18:00	夕食・口腔ケア
19:00	自由時間
21:00	消灯



7. まとめ

入院前は患者様それぞれの生活があったように、退院後の生活も十人十色です。大切なことは、退院後に患者様・ご家族様がご自宅で穏やかに過ごしていただくこと。回復期リハビリ病棟では、患者様が安心して療養できるよう、**入院中より退院後の生活やサービス等の橋渡しや、実際の利用調整**を行います。患者様の退院後の生活がより良くなるよう、これからも医療・ケアの質向上に努めて参ります。